

## 取付説明書

形名 RBN-TE2S

## 安全上のご注意



EG30894501-1

[ 工事業者様用 ]

- このたびは東芝空気制御システム用分岐チャンバーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- 取り付けの前に、この説明書をよくお読みになり正しい取り付けを行ってください。

- 取り付け工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

## 表示の説明



警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容”を示します。



注意

“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容”を示します。

- \*1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。  
 \*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。  
 \*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

## 図記号の説明



禁止

禁止（してはいけないこと）を示します。  
 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



指示

指示する行為の強制（必ずすること）を示します。  
 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

## 警告

- 取り付けは、販売店または専門業者が行う また、再設置する場合も販売店または専門業者が行う  
 取り付け工事に不備があると、落下によるけがや結露により家財などをめらす原因になります。
- 取り付け工事は、この取付説明書にしたがって行う  
 取り付け工事に不備があると空気が漏れて、結露により家財などをめらす原因になります。
- 改造は絶対にしない  
 改造すると空気が漏れて、結露により家財などをめらす原因になります。



## 注意

- 分岐チャンバー以外の用途には使用しない  
 指定用途以外に使用すると、破損などによるけがや家財の損傷の原因になります。



取り付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

また、この取付説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

## 取り付けの前に

- 付属部品（下記部品が入っているか確認してください。）

No.	部品名	数量	No.	部品名	数量
①	分岐チャンバー本体	1	⑥	蓋（塞ぎ蓋）	1
②	断熱材（厚み 5mm, φ 250 ダクト用）	1	⑦	スペーサー（φ 125 ダクト用）	6
③	断熱材（厚み 10mm, φ 250 ダクト用）	1	⑧	ねじカバー	3
④	断熱材（厚み 5mm, φ 100,125 ダクト用）	6	⑨	スペーサー（据え置き設置用）	2
⑤	断熱材（厚み 10mm, φ 100,125 ダクト用）	6	⑩	取付説明書	1

- 現地調達部品

No.	部品名	数量	No.	部品名	数量
1	吊りボルト（3/8"）	3	5	ダクト固定バンド（φ 250 用）	1
2	フランジ付きナット（3/8"）	3	6	ダクト固定バンド（φ 100,125 用）	6
3	六角ナット（3/8"）	3	7	ダクトテープ（粘着材付き 幅 50mm）	—
4	ワッシャー（3/8"）	3			

# 分岐チャンバーの取り付け

## ダクトの接続方法

- ダクトを固定バンドで空気の漏れがないように締め付け固定し、その上から断熱材を貼り付けます。
- 使用しない接続口は蓋を使って口を塞ぎ、ダクトテープでシールをした後、断熱材を貼り付けます。

### ⚠ 注意

#### ●断熱ダクトは指定のものを使う

他のダクトは性能低下や露付きの原因になることがあります。



#### ●断熱ダクトは隙間なく確実に接続する

隙間があると空気が漏れ、結露により家財などを濡らす原因になります。



#### ●断熱ダクトは吊金具などで固定し、接続口に無理な力がかからないようにする

接続口に無理な力がかかると破損したり、空気が漏れて結露により家財などを濡らす原因になります。

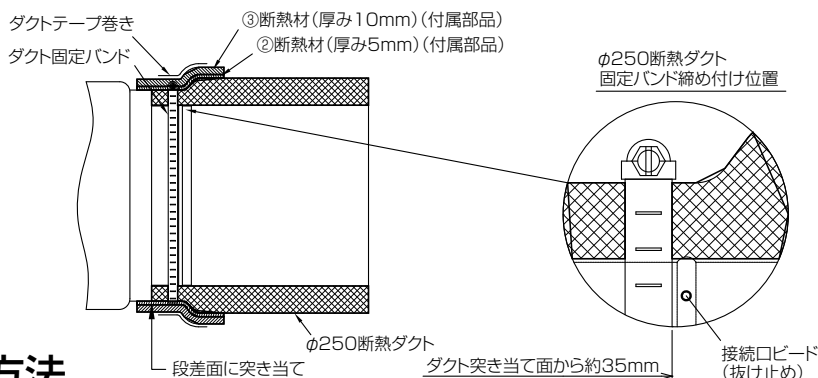


### 🙏 お願い

- ダクト固定バンドの締め付け過ぎに注意してください。接続口が変形するおそれがあります。
- ダクト接続部の断熱材剥がれ防止のため、断熱材の上からダクトテープを巻きつけてください。巻きつけ過ぎないように1重巻き程度で軽く巻きつけてください。巻きつけ過ぎると断熱材が潰れて断熱性が低下するおそれがあります。

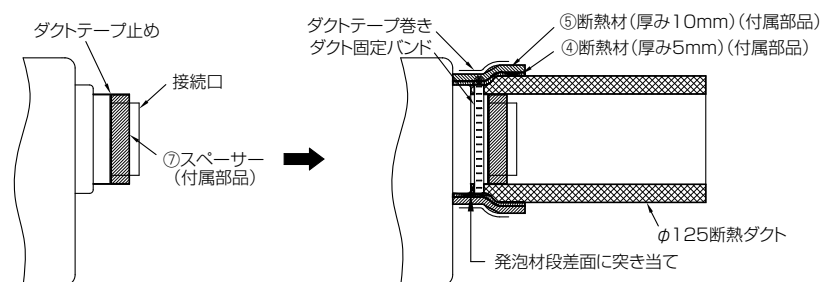
## φ 250 断熱ダクトの接続方法

1. φ 250 断熱ダクトを接続口に挿し込み、ダクト固定バンドで固定します。ダクト固定バンドは右図のように、接続口のビード（抜け止め）にかかる位置で締め付けてください。
2. 付属の②断熱材（厚み 5mm）を巻きつけて、その上から③断熱材（厚み 10mm）を重ね貼りして断熱します。



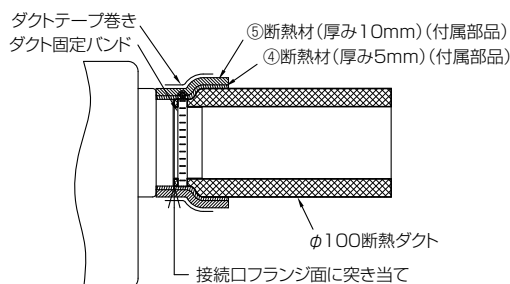
## φ 125 断熱ダクトの接続方法

1. 付属の⑦スペーサーを接続口に取り付けてダクトテープで固定します。
2. φ 125 断熱ダクトを接続口に挿し込みダクト固定バンドで固定します。
3. 付属の④断熱材（厚み 5mm）を巻きつけて、その上から⑤断熱材（厚み 10mm）を重ね貼りして断熱します。



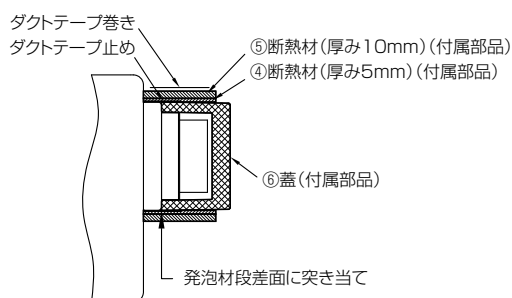
## φ 100 断熱ダクトの接続方法

1. φ 100 断熱ダクトを接続口に挿し込みダクト固定バンドで固定します。
2. 付属の④断熱材（厚み 5mm）を巻きつけて、その上から⑤断熱材（厚み 10mm）を重ね貼りして断熱します。



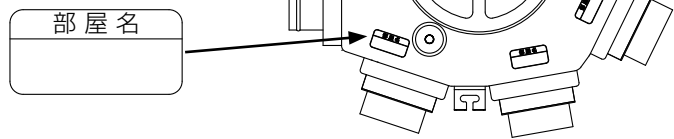
## 使用しない接続口の塞ぎかた

1. 使用しない接続口に付属の⑥蓋を挿し込みダクトテープで固定します。
2. 付属の④断熱材（厚み 5mm）を巻きつけて、その上から⑤断熱材（厚み 10mm）を重ね貼りして断熱します。



## 部屋名の記入

分岐チャンバー本体に貼ってあるシールに、それぞれの接続口につながっている部屋名を記入します。  
部屋が Y 分岐などで 2ヵ所に分かれている場合は、「/ (スラッシュ)」で区切って併記します。

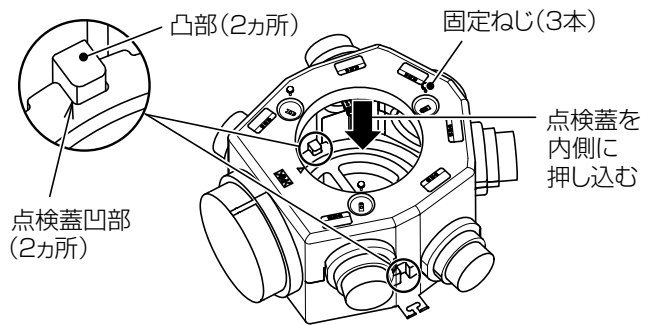


## 風量調節のしかた

点検蓋を開けて、各接続口の風量調節板を開閉して調節します。

### 点検蓋を開ける

1. 点検蓋の固定ねじ ( 3 本 ) をはずします。
2. 点検蓋を本体内部に押し込み、内壁の凸部 ( 2 ヵ所 ) に点検蓋の凹部 ( 2 ヵ所 ) を差し込んで固定します。



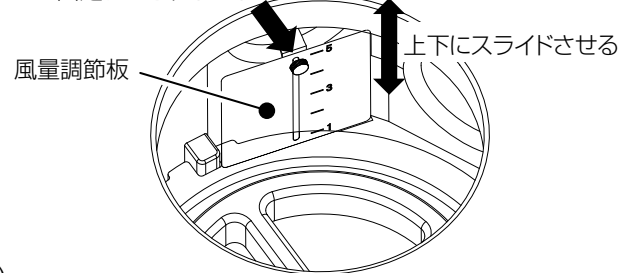
### 風量調節板を上下にスライドさせる

1. 固定ねじをゆるめて風量調節板を上下にスライドさせます。

#### お願い

固定ねじは 3mm 以上ゆるめてください。  
ゆるめかたが不十分な場合、風量調節板が内壁にこすれて、発泡材が破損するおそれがあります。

固定ねじをゆるめる



2. 風量調節は下記を目安に行ってください。  
(ダクト未接続の箇所は風量調節板は全閉にしてください。)

目盛	風量 (%)	
1	0	( 全閉 )
・	25	
3	45	
・	80	
5	100	( 全開 )

### 点検蓋を閉める

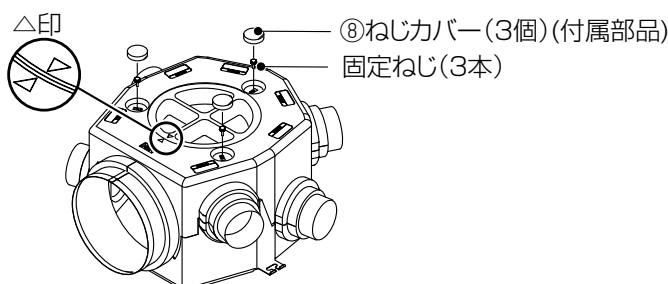
1. 点検蓋と本体の△印を合わせて固定ねじ ( 3 本 ) で固定します。
2. 固定ねじを締めたあと、付属の⑧ねじカバー ( 3 個 ) を取り付けます。

#### ⚠ 注意

●ねじカバーは必ず取り付ける  
結露による水漏れの原因になります。



●点検蓋を閉めたあとに、送風運転を行って  
空気の漏れが無いことを必ず確認する  
隙間があると空気が漏れ、結露により家財  
などを濡らす原因になります。



#### お願い

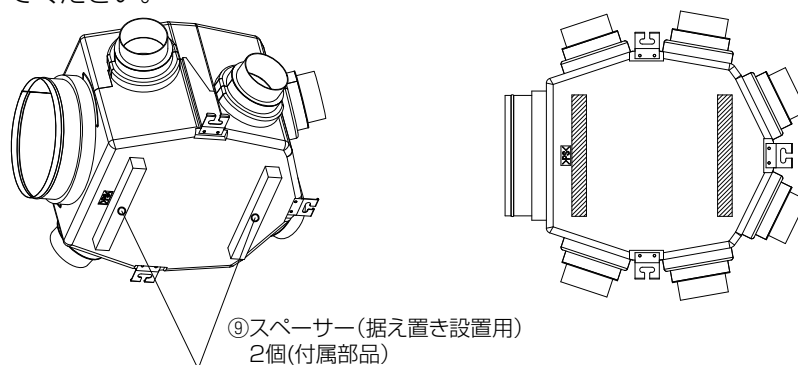
ねじカバーははずれないようにテープを  
貼り付けて固定してください。

## 分岐チャンバーを据え置き設置する場合

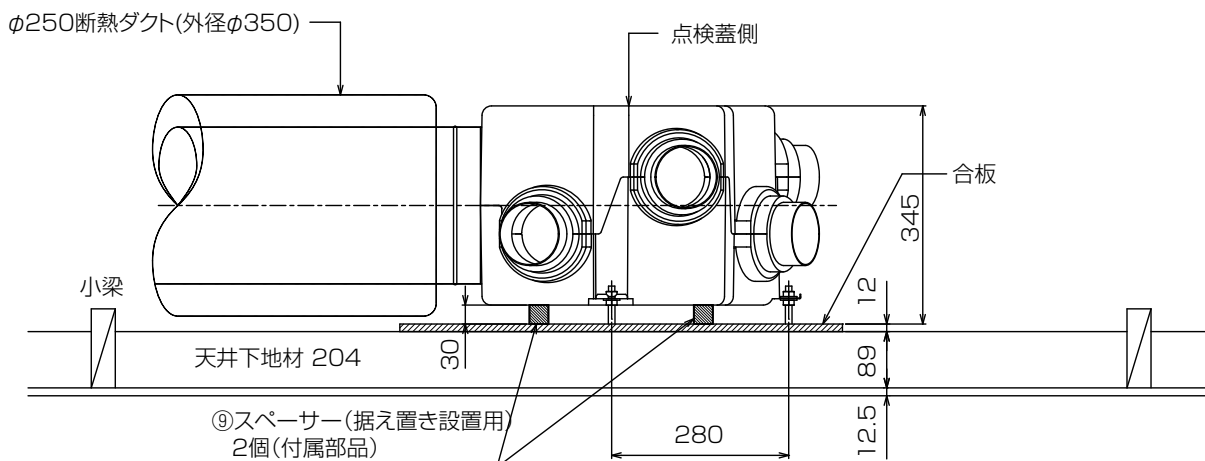
お願い

分岐チャンバー本体の上に乗りかかったり、物を置いたりしないでください。  
発泡部品ですので、強い衝撃を加えると破損するおそれがあります。

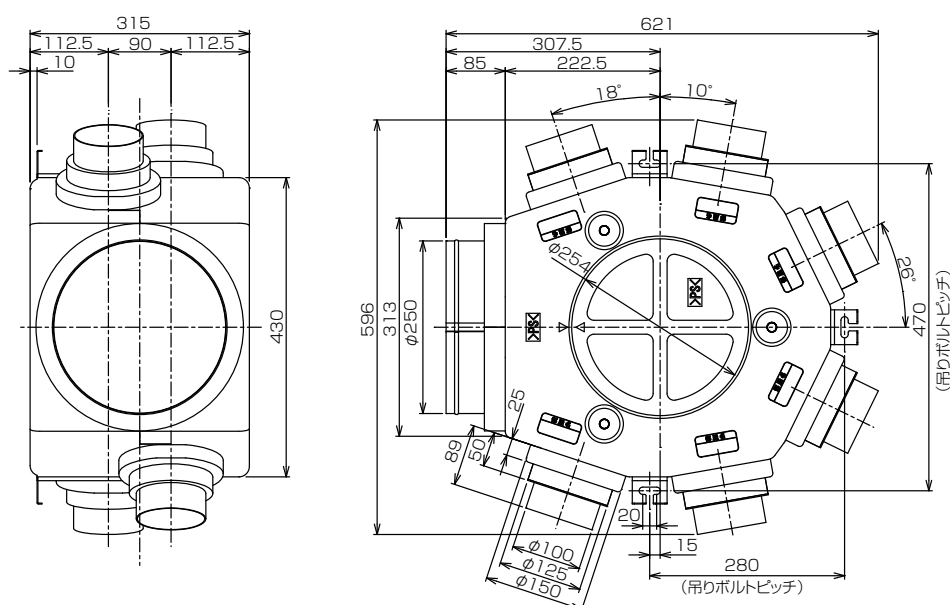
分岐チャンバーを合板の上に据え置き設置する場合は、分岐チャンバー本体の底面に付属の⑨スペーサー（据え置き設置用）を貼り付けてください。



## 据置き設置例



## 外形図



日本キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

SN:EG30894501-①